

二十歳の抱負

「二十歳の集い」がすばらしい思い出になるよう、企画から準備、式典本番まで関わっていただいた実行委員5人に、抱負を語ってもらいました。



今井 亜美さん

この度は、「二十歳」という人生の節目の一つを迎える私たちのために、盛大な式典を催していただきましたこと、心より感謝申し上げます。今日この日を無事に迎えることが出来ましたのは、偏にお世話になったすべての皆様のおかげです。

まだまだ未熟な私ではありますが、変わりゆく今に恐怖せず、勇気をもって未来に挑み学び続ける一人の人間を目指して、より一層精進してまいります。



柿沼 広大さん

本日は、二十歳の集いとしてこのような素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございます。今日、古くからの友人とともに一つの人生の節目を迎えられたことに喜びを感じ、これまで私たちを見守り、育ててくださった家族や地元の方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

私は現在学生として一人で生活しています。その中で、自分の未熟さを実感しつつも、たまに安中に帰った時の変わらない温かさは私の支えになっています。これからも安中の経験を胸に多くの困難に打ち勝ち、これまでの恩返しのためにも未来へ歩んでいきましょう。



新井 愛沙さん

本日は、私たちのためにこのような盛大な式典をご用意いただき、心より感謝申し上げます。また、この場に立てているのは、家族や支えてくださった多くの方々、そして私を育てくれた地域の皆さまのおかげだと感じています。

幼いころから国際的な環境に触れ、現在も大学で世界の言語や文化を学んでいますが、どれだけ広い世界を知っても、安中市に帰ると心がやすらぎ、自分の原点を強く思い出します。

国際的な経験と、安中で培った経験の両方が私の財産です。未熟ながらも成人としての自覚を胸に、世界へと踏み出していきたいと思います。



潮 香帆さん

本日は、このように素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございます。私は小学生の時、言語教室に通わせてもらっていました。その経験を通して、将来はことばやコミュニケーションに難しさを抱える方々の力になれる言語聴覚士として、社会に貢献したいと考えております。夢と希望を持って二十歳の節目を迎えられたのは、この安中市で多くの方々の温かいご支援とご指導をいただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

変わりゆく社会情勢の中で、一人の大人としての責任を自覚し、柔軟な姿勢で学びを重ねながら成長していくよう、これからも精進してまいります。



多胡奈々花さん

本日は、二十歳を迎えた私たちの門出に際し、このような素晴らしい式典を開催していただき、ありがとうございます。二十歳という人生の節目を迎え、大人として新たな一步を踏み出せたのは、これまで育ててくださった家族や、お世話になった先生方、そして困ったときに支えてくれた友人たちのおかげです。

これからは、今までの感謝の気持ちを忘れず、恩返しをしながら地域社会に貢献できる人間を目指していきます。二十歳を迎え、社会の一員としての自覚を深め、日々の行動や言動に責任を持つことを改めて誓い、目標に向かって精一杯精進してまいります。